

Book Review

Reliable Dentistry Step 1

歯内療法・初期齲蝕・歯周治療・臼歯部の補綴治療

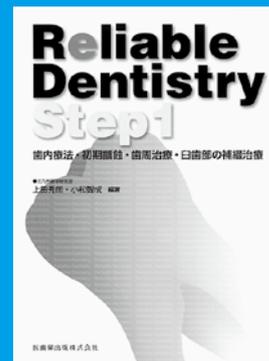
上田秀朗・小松智成 編著

Reviewer

河原英雄

(大分県・歯科河原英雄医院)

A4 判変型、176 頁
定価 12,600 円
(本体 12,000 円+税 5%)
医歯薬出版刊



第 82 回選抜高校野球大会は沖縄の興南高校が初の優勝を決め、沖縄県勢として選抜初出場からちょうど 50 年という節目の栄冠を勝ち取った。テレビ解説者は、「一人ひとりの選手が基本に忠実な攻守を実行した」ことを褒めていた。これは、スポーツに限らず芸術や研究、そしてわれわれの歯科医療にも通じることであろう。

同じこの春、北九州歯学研究会の上田秀朗、小松智成先生を編者として、12 名の会員のチームワークによる『Reliable Dentistry Step 1』が出版された。「歯内療法」「初期齲蝕」「歯周治療」「臼歯部の補綴治療」という、歯科臨床の基本中の基本となる症例を提示し、診断と治療、そして長期経過について、無駄のない簡潔な説明を加えている。X 線写真、臨床写真、模型はすべてが基本に忠実で、規格性があり、すっきりとしている。エビデンスに裏づけられ、しかも機能的調和がとれた臨床結果は、実に美しい。逆に、目に美しい臨床写真は余計な説明などなくとも読者を感動させ、納得させる、とも言える。「百聞は一見に如かず」である。

巻頭で編者らは述べている。「最低これだけの知識と技術は習得すべきである」と考える内容を記載した。Step 1 を通して読んでいただければ、いま若い先生方がまず何を学べばよいかをわかっていたいただけることと思う。そのうえで、読んだことを必ず自らの臨床で実践し、結果を長く見つけていただきたい。これらの項目を押さえておけば、ある程度長期に安定した状態が保て、患者さんの信頼も得られるだろう。まさにこのとおりである。

掲げられた症例はどれをとっても、決して特別なものではない。本来、歯科大学を卒業し免許を取得した歯科医であれば、誰もが当たり前のこととしてできなくてはならない治療である。だが、それがなかなか容易ではないところに、わが国の歯科医療の大きな問題点がある。歯科医療が、真に国民から求められ、支持され、応援されるようになるためには、日本中のすべての歯科医が、本書のようにやるべきことをちゃんとやるのが、何にも増して必要だと思うのである。

若い歯科医は、現在の自分の X 線写真や臨床写真などを、本書の症例写真

と比較して、自己の臨床力の診断に使うとよい。上手と下手の間には、実は、人が考えるほど大きな差はない。ほんのちょっとした差が、大きな結果の差になって返ってくる。そのほんのちょっとした差に気づき始めると、毎日をワクワクしながら過ごせるようになり、人によっては苦痛だったかもしれない臨床も、大いなる楽しみへと変わる。自分の臨床力がしっかり確立すると、患者さんに対する説明の書葉にも自信と迫力が増す。患者さんからの信頼が深まれば、歯科医療に生き甲斐を感じるようになること、間違いない。

本書の臨床力に及ばないと感じた若い歯科医は、これらの症例を徹底的に真似してマネして、自分の臨床結果を蓄積することから始めてほしい。それらの蓄積の中から、いつか一歩前進した自分を発見することができれば、必ずや目の輝きも違ってくるだろう。スタディグループのチームワークでこのような実績を残されたことは、実に素晴らしい。本書によって、日本全体の歯科医の臨床力が一層アップすることを期待したい。Step 2、3 が楽しみである。